

大賞

私の勉強法

愛知県 Ai

勉強ってやらなきゃいけないのは分かっているけど、やる気がでないもの。でも私にはやる気のな
くならない勉強法がある。

……ある日、私は恋をした。成績優秀、スポーツ万能、容姿端麗の完璧な人。私が彼に近づく
手なんて何もないと思っていた。奥手で目も合わせられない私は、ただただあこがれているだけ
だった。

けれど、恋をして数週間後、テストの成績表をもらった日に、その手を見つけた。

私の学校では、テストの成績上位者の点数、順位、名前を1枚か2枚かの紙にまとめて配付し
てくれる。その日、その紙の科目別のところを見ると、彼と私の名前が上下に並んでいた。近づけ
ないと思っていた彼の名前が私のすぐ近くにあった。たったそれだけのことだけど、嬉しくて、嬉し
くて、仕方がなかった。

彼に近づく手とは、成績を近づけること。名前が近いのが嬉しいのはもちろん、成績が近づけば
私の名前もついでに見てくれる。彼にとっての私の存在感もきっと増す。

その日から私にとっての勉強は青春そのものとなった。

成績を近づけるために、勉強する。勉強すれば彼に近づける、と思い勉強する。彼も今勉強し
ているのかな、と思いをさせつつ勉強する。

気づけば、成績はかなり上がっていた。彼と名前が並ぶことが増えた。先生や親に褒められる
ことも多くなった。私の小さな幸せが勉強したら、増えた。

恋の仕方としては間違っているかもしれない。少しでも関心を持ってほしい。ただ、それだけだ
から。

でも、勉強法としてはこれが最高のやり方だと思う。好きな人を思って勉強するから、好きな限
り、やる気はなくなることはない。

私は今、高校生。そろそろ将来行く大学のことも考えなければいけなくなってきた。周りは不安
がっている。でもきっと大丈夫。

私はがんばれる。彼を思えば。